



Title	ポストコロニアル・フォーメーションズ(3) 目次
Author(s)	
Citation	言語文化共同研究プロジェクト. 2008, 2007
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/77335
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

目 次

木 村 茂 雄	ポストコロニアル性とコスモポリタニズム ——差異性と普遍性のはざまで——	1
山 田 雄 三	「1968 年」伝説の周縁で ——『ニューレフト・レビュー』に見るモダニズムの残照——	11
伊 勢 芳 夫	揺らぐ語り—転換期の作家（2） ——全知から個人の視点へ——	21
加 瀬 佳 代 子	支配も抵抗もしない人間 ——ガンディーの経世代的影響——	29
村 上 八 重 子	J.M.Coetzee の <i>Disgrace</i> における主人公の'disgrace'とは ——『イサクの献供』との関わりを中心に——	39
小 杉 世	フィジーにおける先住民とインド系移民——ポストコロニアルは 民族ナショナリズムを超えられるか？——	49
古 東 佐 知 子	<i>Signifying John de Conquer: Inside/Outside the Collective Voices in Their Eyes Were Watching God</i>	61